

北海道新幹線二次交通等整備事業について (二次交通の試験運行の状況等)

1 事業概要

新幹線を利用して来道する観光客を地域に呼び込むため、新幹線駅からのバス路線の開設や特急列車停車駅と観光施設を結ぶ交通ネットワークの強化に向け、地域関係者が中心となって実施する需要動向の把握や試験運行などについて、道が支援。

2 取組状況

(1) 後志地域における二次交通等整備事業

①函館～倶知安間の都市間バスの検討

- ・ 9/5(土)～10/12(月・祝)の土日祝(計16日間)に、1日1往復の試験運行を実施(函館駅前～倶知安駅前：片道3,600円)

【利用実績 197名(函館駅発94名、倶知安駅発103名)】

【利用者アンケートの結果(概要)】

- ・ 総合評価では、全体の7割近い利用者が満足と高い評価であり、運賃や車両、所要時間についても6割を超える利用者から満足との評価あり。
- ・ 1日1往復とした運行本数は評価が低く、満足と評価した利用者は3割に留まり、改善を求める回答が多く見られた。

②リレー観光タクシーの検討

- ・ 9/19(土)～11/23(月・祝)に試験運行を実施(1台7,000円×1コース、1台9,000円×2コース、1台10,000円×1コース、計4コースを設定)【**利用実績 計25台**】

【利用者アンケートの結果(概要)】

- ・ 車両を乗り継ぐ周遊により、各エリアの乗務員がそれぞれの地域を詳細に案内できることや、立ち寄り先の自由度の高さなどから、全体の9割が満足と高い評価あり。
- ・ 利用者の約5割が観光コースの充実、約4割が立ち寄り先の充実を改善点として挙げた。

(2) 胆振地域都市間バスの試験運行事業

○登別～洞爺湖～倶知安を結ぶルートへの検討

- ・ 9/19(土)～23(水・祝)及び10/11(日)～12(月・祝)の7日間に試験運行を実施(1日1往復、片道3,200円(小人半額))

【利用実績 104名】

【利用者アンケートの結果(概要)】

- ・ 総合評価では、全体の8割を超える利用者が満足と高い評価であり、車両、乗降場所、ルートについても8割を超える利用者から満足との評価あり。
- ・ 1日1往復とした運行本数は評価が低く、満足と評価した利用者は5割に留まり、改善を求める回答が多く見られた。

※ 試験運行の結果等を踏まえ、道南バス株が登別温泉と洞爺湖温泉を結ぶ都市間バス「高速いぶり号」の運行を決定(大型連休に合わせて4/29から運行)

(3) 渡島地域におけるタクシー交通整備事業

①環駒ヶ岳地域における観光タクシーの検討

- ・9/5(土)～11/29(日)に試験運行を実施(1台5,000円×2コース、1台10,000円×2コース、計4コースを設定) **【利用実績 計95台】**

②新幹線駅からの定額タクシーの運行に向けた検討

- ・東北新幹線の新青森開業時などの先行事例等を調査

(4) 南空知地域における二次交通等整備事業

○岩見沢駅・美唄駅を起点とした周遊バス・観光タクシーの検討

(周遊バスの検討)

- ・9/21(月・祝)～10/18(日)の土日祝(計12日間)に、2コースのツアーバスの試験運行を実施(旅行代金 2,500円) **【利用実績 計150名】**

(路線バスの活用)

- ・9/21(月・祝)～10/18(日)に、既存の路線バスを活用した周遊モデルについて、モニター調査を実施 **【利用実績 計26名】**

(観光タクシーの検討)

- ・9/21(月・祝)～10/18(日)の土日祝(計12日間)に、3ルート of タクシープランの試験運行を実施(1台3,000円、4,000円、5,000円の3ルート) **【利用実績 計16台】**